

芸術創造産業が生むネオ・ルネッサンス

アートマネジメントの役割

昭和音楽大学名誉教授が記念碑的に提起する、 崇高な社会の構築と死の超越に関する画期的論考。

(内容紹介)

富の蓄積と消費のみを追求する資本主義の限界が露呈した現在、人に生きがいを与える芸術や科学の創造の重要性が増している。

芸術や創造を経営学的手法によって産業として育てるのが「アートマネジメント」である。

「芸術創造産業」が経済の中心となった時、あらゆる人が創造や発見、奉仕を通して自らの証を人類史に刻む、幸福な社会「ネオ・ルネッサンス」が到来するだろう。日本アートマネジメント学会顧問・元文化庁文化部長が描く、画期的な未来像。

日本アートマネジメント学会顧問である著者が「芸術とは何か」「文化とは何か」「マネジメントとは何か」を基礎から解き、「アートマネジメント」の重要性を説きます。著者が構築した独自の哲学「永遠志向」に基づいて語られる未来像は、実現可能かつ人類が目指すべき理想の世界として、魅力を放ちます。

アートマネジメントを扱った新たな重要著作であるばかりでなく、アートやクリエイティビティを発揮する活動に興味を持つすべての人に読んでいただきたい一冊。

芸術創造産業が生む ネオ・ルネッサンス *Neo-Renaissance*



アートマネジメントの役割

記念碑的
論考
Michihiro Watanabe
渡辺通弘

崇高な社会の
構築と
死の超越を
提起する

定価：1,540円(10%税込)

著者略歴

渡辺 通弘(わたなべみちひろ)

東京都出身。東京開成中学校、同高等学校卒業、中央大学法学部卒業。

外務省入省後、米国ジョージタウン大学大学院国際関係学専攻、ニューヨーク・ユネスコ国連連絡事務所連絡官、パリ・ユネスコ本部人事官。帰国後、文部省（現・文部科学省）にて、総理府青少年対策本部参事官を経て、文化庁で芸術課長、文化普及課長、総務課長、文化部長を歴任。

文化庁を退職し、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）アンダーソン経営学大学院MBA課程客員教授。昭和音楽大学音楽芸術運営学科初代学科長。現在、昭和音楽大学名誉教授。日本アートマネジメント学会顧問。ベルマーク教育助成財団理事。著書多数。

貴店印・帳合

注文数

芸術創造産業が生むネオ・ルネッサンス
アートマネジメントの役割

渡辺 通弘/著

定価：本体1,400円(税別)

ISBN978-4-909417-99-2

発売日：2022年7月7日

四六判上製/本文256頁

ご担当

様

冊

PHPエディターズ・グループ

発
行

PHPエディターズ・グループ

〒135-0061

東京都江東区豊洲5-6-52 11階

☎ 03-6204-2931

FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。